

【障害施設版】 秋田県福祉サービス第三者評価 評価結果票

評価実施基準日	平成 23 年 11 月 5 日
評価確定公表日	平成 24 年 1 月 30 日
評価情報更新日	平成 年 月 日

◆ 評価を実施した機関

名称	特定非営利活動法人 秋田県福祉施設士会
所在地	(〒 018 - 3454) 北秋田市脇神字高村岱 281-4
TEL	(0186) 60 - 1071
FAX	(0186) 60 - 1071
E-mail	murakou-0101@w4.dion.ne.jp
ホームページURL	

◆ 評価を受審した事業者

法人名称	社会福祉法人 アキタ アサヒカワクシカイ 秋田旭川福祉会		
法人所在地	(〒 010 - 0822) 秋田市添川字地ノ内 10-1		
TEL	(018) 868 - 4868		
FAX	(018) 868 - 4856		
法人代表者	理事長 斉藤真人		
事業所名	メイセイ園		
サービス種別	就労支援B型事業		
管理者名	石川良雄		
開設年月日	昭和 60 年 4 月 1 日	定員数	50 名
TEL	(018) 868 - 4868		
FAX	(018) 868 - 4856		
E-mail	shizuko@mbc.ne.jp		
ホームページURL			

◆ 評価の総評（優れている点、改善を求められる点）

Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

就労継続支援B型事業を通じて、利用者、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことを目的として福祉サービスを展開しております。又、管理者による責任とリーダーシップのもとで「秋田県の5ヶ年計画・障害者が可能な限り、就労による自立・生活向上」の推進に積極的に取り組み実施していることは、非常に高く評価できます。今後、中・長期計画の策定と理念・方針について保護者への周知を大切に、継続的な目的の実現に取り組まれることを望んでいます。

Ⅱ 組織の運営管理

組織の特徴として、「働く、暮らす」をテーマとし「一円でも多い工賃の支給を目指す」という努力の中で安全管理と健康管理に関してはどの利用者も満足しているという事、更に利用者がお互いに生活環境・友達環境で「自分は一人ではない、仲間がいる」と実感している事は、集団を通して働く楽しさと生き甲斐に繋がっているようで、すばらしいことです。しかし、サービス提供施設として、利用者と直接関わる職員に対しての信頼関係構築面で薄いところが見うけられます。今後、中・長期計画の策定の中で単年度達成の重点項目の設定が必要と考えられますが、その中で更なる組織運営に関するサービス向上に取り組まれることを期待します。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

就労支援を主軸に置き、利用者へも就労することの喜び等サービスの提供がなされています。しかし、個々の利用者へのサービス向上と言う面では、今後の見直し、規定、マニュアル等を整備し、より質の高い、福祉サービスの実施が望まれますし、期待するところです。

A 利用者の尊重、日常生活支援

利用者主体の考え方が徹底され、就労環境も良好です。一人一人が与えられた部所にて、責任と自覚を持って就労されている様子が十分感じられました。今後も利用者のさらなる向上と一人の社会人として尊重され、成長されるよう支援を希望します。

※ その他、特記事項

B型事業ではありますが、利用者の生活環境・保護者の状況と地域で暮らす利用者のバックアップにも力を注いでおります。このことは、障害者基本法改正の意義である「人格と個性を尊重し合う共生社会を目指し、障害者が社会の一員として主体的・自立的に参加していくために障害者の特性に応じた適切な支援」とともに、権利擁護を守ることに繋がるものと考えられます。今後も利用者の地域生活を支えながら、就労支援、生活支援に邁進していただけますよう期待いたします。

◆ 細目の評価結果（基本評価55項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
①理念が明文化されている。	a	定款、事業計画、職員必携に文書化されており、事業目的が明確となっております。	事業の理念を職員間で共有するとともに、実践を通じて反映させていきたい。
②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	事業計画、職員必携により明文化されており、第2種社会福祉事業として内容は適切となっております。	理念、方針は事業の根幹をなすものと認識したうえで、よりよい福祉サービスを提供していきたい。
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
①理念や基本方針が職員に周知されている。	a	職員必携により明文化されておりますが、年度初の職員会議等で周知のための説明が必要と思われまます。	今後、定期的に周知を図っていきたい。
②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	年度末の利用者及び家族会で事業説明は行われているようです。今後、文書で配布することにより、周知の方向が望まれます。	機会を通じ文書を配布していきたい。
2 計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
①中・長期計画が策定されている。	c	中・長期の計画は明確にしていなが、単年事業計画の中で分野別の計画はあります。3～5年の計画が望まれます。	事業がより円滑に遂行されるよう、中・長期計画を策定していきたい。
②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c	就労支援事業の中・長期計画の策定が望まれます。	中・長期計画の中で、目標達成の期間等を明確にして、意識の向上を図ってきたい。
(2) 計画が適切に策定されている。			
①計画の策定が組織的に行われている。	b	分野別に職員の参画のもとで策定され、定期的に評価・見直しと組織全体で進めていくことが望まれます。	計画策定の意義を理解のうえ、向上心を持って事業に邁進できるようにしていきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②計画が職員や利用者に周知されている。	b	職員に対しては年度初めに配布して周知を図っているようです。利用者・家族に対しても周知できる対策が望まれます。	家族との交流場面等を通じ文書等を配布するなど、工夫を凝らし周知を図っていききたい。
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
①管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a	役割分担表、職員会議、学習会、日々の朝礼などあらゆる機会において説明しています。	今後もあらゆる場面を通じて、説明を行い、管理者としての責務を果たしていききたい。
②遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	施設長研修、セルフ協、部門取引業者会議等事業に関する研修参加と積極的に取り組んでおります。	研修等には積極的に参加して、情報収集を行い、研鑽を重ね事業を充実させていききたい。
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	施設の理念・方針と業務への理解を深めるための取り組みや実践的な取り組みにも指導力を発揮しております。	今後も充実させていききたい。
②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	経営や業務について、改善に向けて取り組み、人員配置や環境整備等に積極的に取り組んでおります。	引き続き取り組む必要性があり、柔軟な対応を目指していききたい。
II 組織の運営管理			
1 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
①事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	就労支援への取り組みにおいて、工賃の支払いが発生するため、常に経済状況の情報把握に務め、事業経営を進めております。	社会経済動向の変化を的確に捉え、事業経営に反映させていききたい。
②経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a	毎月の収支の状況把握・分析して不良品を少なくする努力や改善すべき課題に取り組んでおります。	就労継続支援事業B型事業の特性を十分理解のうえ、利用者工賃の充実に努めたい。
③外部監査が実施されている。	a	税理士事務所に委託して実施しております。改善点については、その都度改善している。	今後も適切な対応に努めていききたい。
2 人材の確保・養成			
(1) 人事管理の体制が整備されている。			

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
①必要な人材に関する具体的なプランが確率されている。	a	就労支援事業として適切な人員配置は確保されておりますが、障害福祉サービスにおいては、障害特有の理解に向けて資格者配置が望まれます。	障害福祉サービスにおける適切な人員配置に心がけていきたい。
②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c	人事考課制度は現在取り組んでおりません。	今後検討していきたい。
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	就労支援事業であり、休日は決まっております。就業状況は常に把握されていますし、意向にそった取り組みがなされております。	労務管理の一環からも適切に対応していきたい。
②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	c	現在は加入していないが、将来的には福利厚生面で計画しております。	今後検討していきたい。
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	新人教育や職務での学習会は実施されておりますが、文面として明示がなされております。計画的な取り組みが望まれます。	今後、文書化するとともに研修計画を作成して継続的な取り組みをしていきたい。
②個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	c	職員必携等、組織として教育・研修の基本方針はありますが、個々に対する技量向上のための計画が望まれます。	個々の資質の向上を目指して、計画を策定していきたい。
③定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a	施設内研修や学習会は定期的実施されております。評価・分析した結果を反映させております。	今後も継続して、学習の機会を設け切磋琢磨していきたい。
(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。			
①実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	b	特別支援校の高等部や中学部の実習を受け入れております。福祉系の学校はまだ少ない状況のようです。	依頼に応じ、幅広く受け入れができるようにする。
②実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	b	特別支援校からの受け入れで画一的なプログラムは策定できない状況であり、希望や障害の状況似合わせた取り組みをしております。	関係者と連携を図り、プログラムの策定等を模索していきたい。
3 安全管理			
(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			

項	目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
	①緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	安全対策、感染症予防対策、就労支援事業の作業活動の面から毎朝注意喚起を実施されており、安全支援の取り組みが見られます。	これからも衛生面等には、十分配慮していきたい。
	②利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b	緊急時の連絡体制にも取り組み、安全支援を努めておりますが、事例を収集して検討会でより安全を目指していただきたい。	様々な場面を想定して、より安全を確保できるよう周知を図り、利用者を支援していきたい。
4 地域との交流と連携				
(1) 地域との関係が適切に確保されている。				
	①利用者と地域との関わりを大切にしている。	b	町内の運動会等行事に参加したり、施設の行事に招待等交流が図られております。	地域社会の中で、存続していることを理解のうえ、これからも良好な関係を構築していきたい。
	②事業所が有する機能を地域に還元している。	b	クリーンアップ、草刈り、除雪等積極的に取り組む姿勢は見られます。協働という面から理解していただくことが望まれます。	地域社会との良好な関係を維持していくためにも、利用者を含め、社会参加・社会貢献を重ねていきたい。
	③ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	更生保護の会を受け入れています。事業計画に基本姿勢を明示して取り組むことが望まれます。	今後、事業計画に反映させていきたい。
(2) 関係機関との連携が確保されている。				
	①必要な社会資源を明確にしている。	b	組織として関係機関への連絡方法は明示されているが、今後は職員全員が共有化されることが望まれます。	職員間での周知徹底を図っていきたい。
	②関係機関等との連携が適切に行われている。	b	連携は図られていますが、事例検討等、事業計画に明示し、実施されることが望まれます。	事業計画等に網羅させていきたい。
(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。				
	①地域の福祉ニーズを把握している。	b	地域から評議員を選定したり、地域を大事にする姿勢は認められます。今後はより、積極的な関係が望まれます。	事業内容を理解してもらい、地域に必要な事業所と認知して貰えるよう、地域に根付いた活動を継続していきたい。
	②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b	地域に関わるという姿勢は見うけられます。今後は、事業計画に明示して取り組むことで意識が明確になると思われます。	地域との関係向上を目指し、どのような活動が必要かを考慮しながら取り組んでいきたい。
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施				

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
①利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a	「個別支援計画作成会議」でサービス提供に関する共通理解、認識が図られております。	今後も利用者支援が適切に行われるよう、継続していきたい。
②利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	c	利用者保護の姿勢は充分認識され、周知されていますが、規定やマニュアル等、早急に整備されることが望まれます。	今年度中に整備していきたい。
(2) 利用者満足の向上に努めている。			
①利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	b	利用者満足の向上のため、取り組みは充分評価されますが、計画について明示するなど仕組みの整備が望まれます。	仕組みの整備を早急に行いたい。
②利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	c	利用者満足の取り組みはなされていますが、調査等、積み重ねる整備の取り組みが望まれます。	利用者主体の視点を念頭に、計画性を持ち、取り組んでいきたい。
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a	個別に相談、意見を述べやすい相談室が設けられており、担当職員も配置され、取り組みは配慮されている。	今後も利用者支援が適切に行われるよう、継続していきたい。
②苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a	利用契約書に明記、及び口頭でも周知されています。その仕組みについて施設内に掲示されることを望みます。	掲示のうえ、利用者への周知を図っていき
③利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	c	その都度、対応する体制は整っていましたが、しかし、それに関するマニュアルは整備されておらず、今後根整備が望まれます。	早急に整備する。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
2 サービスの質の確保			
(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。			
①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b	今回受審したことで、今後定期的な自己評価を行い、サービス向上に向けて取り組むことが望まれます。	今回の評価結果をもとに、よりよい福祉サービスの提供を目指していきます。ん
②評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b	今回の評価により、課題等が明確になったと思われま。定期的な自己評価で職員の意識とサービス向上に努めていただきたい。	課題と今後取り組むべきことがことが鮮明になり、目標が定まった。今後、あらゆる場面で活用しつつ利用者サービスの向上に努めていきたい。
③課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b	今回の評価から、今後定期的に評価しながら、改善策や計画を立案されることが望まれます。	組織として計画性を持って活動していきたい。
(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
①個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	b	就労サービスが提供され、賃金も支給されております。実施方法について文書化されることが望まれます。	早急に整備していきたい。
②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	実施方法についても見直しをする仕組みを確立して文書化することが望まれます。	仕組みを確立して早急に整備していきたい。
(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
①利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	記録に関しては、適切に行われております。今後、文書の書き方に配慮が必要と思われま。す。	記録の仕方を改めていきたい。
②利用者に関する記録の管理体制が確立している。	c	記録は適切に行われていますが、今後、管理規定を整備されることを期待します。	記録の重要性を認識・理解のうえ管理規程を
③利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	日常的に朝礼、打ち合わせ、職員会議等で情報提供がなされている。	引き続き連絡を密に実施していきたい。


項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
3 サービスの開始・継続			
(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
①利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a	パンフレット等で情報が提供されている。また公共機関にも設置している。事前に体験・実習・見学もできているようです。	選択の自由の中、適切な情報を発信していきたい。
②サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a	利用者・家族に対して、重要事項・契約書の説明を行い同意を得ている。	利用者・家族にわかりやすく丁寧な説明に努めていきたい。
(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
①施設の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	電話、連絡帳等で利用者・家族の意向を確認するなど配慮はなされております。。文書や窓口などの設置で明確な形が望めます。	今後は、訪問や文書化といった形で明確にし
4 サービス実施計画の策定			
(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
①定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a	計画的にアセスメントが行われ、細部まで記録されております。	記録の重要性を認識・理解のうえ利用者サー
②利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	b	ニーズ、課題等に対する対応に多少不十分な面が見られます。担当者・関係者への周知方法に工夫が望めます。	職員間の情報交換を活発に行い、課題等を明確にしてサービス提供につなげていきたい。
(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
①サービス実施計画を適切に策定している。	a	サービス管理責任者が設置されています。職員会議でのケース検討会で情報共有され、支援する上で策定にいかされております。	計画策定が実践において十分反映されるよう、職員間での情報の共有を図っていく。
②定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b	見直し、評価等、検討会議の参加職員による組織的な仕組みを定め定期的の実施することが望めます。	職員全体で共有できるよう、定期的な実践に向け見直しを図る。

◆ 細目の評価結果（内容評価26項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
1 利用者の尊重			
(1) 利用者の尊重			
①コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	a	利用者のコミュニケーションは比較的高く、地域の行事参加、バス停の掃除、除雪活動等、多くの場面を設定し工夫されています。	地域社会との良好な関係構築は、これからの社会状況下、重要性を帯びてくるため、今後も継続していくものである。
②利用者の主体的な活動を尊重している。	a	朝礼や全体会の中で利用者の意見や要望等を取り入れながら、必要な支援は確保されています。	利用者一人ひとりが、自己の考え等を表出できるとは限らないものの、工夫を重ねながら支援を行う。
③利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	a	作業環境も整理整頓され、安全な環境の中で安心して活動できるよう、休憩時間も自由に過ごせるよう配慮されています。	今後も、安全・安心の環境を堅持していく。
④利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	a	社会生活力が高い利用者が多く必要な情報も提供されている。さらに人権意識を高められるように支援が望まれます。	人権・権利擁護の観点からも、利用者主体の福祉サービスが提供できるように技量を高めしていく。
2 日常生活支援			
(1) 食事			
①サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	a	外部委託ながら、行事食や季節食など取り入れて利用者に提供しています。献立表も食堂に掲示しております。	委託先との連携を密に、よりよい食事の提供に努めていく。
②食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	a	ご飯、味噌汁は園で準備し、おかわりもできるなど配慮されている。「献立表」を保護者に知らせることで安心理解が得られます。	バランスのとれた食事の提供に努めていく。
③喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	a	食堂は広く明るく十分なスペースとなっている。「てんかん」等の持病のある利用者に肘付きイス等の配慮がなされています。	利用者の特性を考慮する。
(2) 入浴			
①入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事項に配慮している。	a・b・c		

②入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	a・b・c		
③浴室・脱衣場等の環境は適切である。	a・b・c		
(3) 排泄			
①排泄介助は快適に行われている。	a・b・c		
②トイレは清潔で快適である。	a・b・c		
(4) 衣服			
①利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	a・b・c		
②衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	a・b・c		
(5) 理容・美容			
①利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	a・b・c		
②理髪店や美容院の利用について配慮している。	a・b・c		

(6) 睡眠			
①安眠できるように配慮している。	a・b・c		
(7) 健康管理			
①日常の健康管理は適切である。	a・b・c		
②必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	a・b・c		
③内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	a・b・c		
(8) 余暇・レクリエーション			
①余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	a・b・c		
(9) 外出・外泊			
①外出は利用者の希望に応じて行われている。	a・b・c		
②外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	a・b・c		
(10) 所持金・預かり金の管理等			
①預かり金について、適切な管理体制が作られている。	a・b・c		
②新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	a・b・c		

	③嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	a・b・c		
--	---	-------	--	--